

ウチヤマタイムズ

7

2017
No.185

発行所: (株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話: 093-551-0002

発行日: 平成29年6月20日
編集: 岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒
監修: 内山文治・吉岡信之

六月一日、さわやか俱楽部の介護施設と放課後等デイサービス事業所が三か所で同時にオープンしました。

3か所同時OPEN

さわやかシーサイドくきのうみ

福岡県北九州市に「さわやかシーサイドくきのうみ」がオープン致しました。介護付有料老人ホーム八〇床とショートステイ一〇床の複合施設です。当社として初めて、施設内に保育園「さわやかくきのうみ保育園」を開設し、幼い子供を持つ職員でも働きやすいのが特徴です。

建物は地上五階建てで、有料老人ホームが二～四階にあり、二階の一部がショートステイとなっています。五階には地域の災害避難所を兼ねた研修室があり、北九州でも有名な若戸大橋や皿倉山、高塔山が一望できます。一階には地域の方々と交流できる地域交流ホールと保育園があり、幼い子どもから高齢者まですべての世代が共に生活できる環境となっています。

管理者よりご挨拶

さわやかシーサイドくきのうみでは、地域に開かれた施設として地域交流スペースを活用し、介護専門スタッフによる介護保険セミナー・や保育士による子育て子どもサロン等を開催するなど、気軽に立ち寄って頂ける施設を目指しています。地域の学生やボランティア、インター・シップの受入れも積極的に行います。

「お客様一人ひとりが、その方らしい生活が過ごせる」施設運営を念頭に、小さな子どもから高齢者まで共に支えあい、共に生活する「幼青老共生」をスローガンとして、地域に根ざしたサービス提供を職員一丸となって行います。皆様の温かいご指導を宜しくお願い致します。(井上公二)



井上管理者



さわやかシーサイドくきのうみ

福岡県若松区くきのうみ中央2-1

TEL.093-752-5400

●交通アクセス

JR若松駅より車で10分、若松警察署前バス停より徒歩10分



管理者よりご挨拶

児童・生徒たちの元気と笑顔を多く引き出せる運営を行っていきます。「できる!」できた!みんなの笑顔」をテーマに掲げ、児童たちに成功体験を多く経験できる場を作り、第二の家と思つてもらえるアットホームな事業所作りを職員一同で行っています。今度もご指導の程宜しくお願い致します。(横井道清)



管理者よりご挨拶

さわやか愛の家さいだいじ館に次ぎ、岡山県内で二番目に開所された放課後等デイサービスです。障害のある児童や生徒が生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流を促進させることを目的としています。そのためには児童と生徒の安全を確保することと、保護者の方々との信頼関係を築き、安心して療育を受けられる環境を提供していかないと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。(伴野順子)



さわやか愛の家せとうち館

岡山県瀬戸内市長船町八日市512

TEL.086-926-8787

さわやか愛の家せいとうち館

さわやか愛の家にいはま館

愛媛県新居浜市東田3丁目乙11-77

TEL.0897-43-3666

さわやか愛の家にいはま館

愛媛県新居浜市にあるさわやか俱楽部の介護付有料老人ホーム「さわやか愛の家にいはま館(定員10名)」がオープンしました。介護施設の入居者様との交流を通じて、児童と高齢者が多く関わる施設運営を目指しています。

第3回さわやか 口腔ケア認定士 合格者発表

さわやか俱楽部と九州歯科大学との共同の取り組みで設けられた、口腔ケアに関する社内資格「さわやか口腔ケア認定士」の第3回目の試験が4月下旬に行われ、5月31日に合格者が発表されました。

施設名	職員名	施設名	職員名	施設名	職員名
さわやか東神楽館	湯浅 好恵	さわやか和布刈館	宮本 恵世	さわやか行橋館	原田 涼平
	佐藤 つぐみ		山本 紀美代		矢野 智嗣
	板木 孝好		松尾 健		西川 純子
	鈴木 くるみ		菊地 恵		増田 桂子
	久保田 陽子		原田 翔子		穴井 智子
	眞鍋 大介		片山 明美		勝本 育美
さわやか室蘭館	志賀 千春	さわやかDS木町	山下 優	さわやか行橋式番館	河内 志穂
	伊藤 健太		小野 雄志		亀井 清
	さわやかGHむろらん		大木 君代		さわやかGHあおいうみ
さわやか日の出館	皆見 祐子		岡本 孝恵		鈴木 智子
	渡部 弘美		宮本 聖介		日高 健司
	石田 昭子		平田 祐子		菅原 涼代
	丸山 夕紀		渡邊 和彦		能美 篤子
さわやかかぬま館	牧岡 美貴子		高瀬 弘和		濱口 朋子
	大塚 憲介		早瀬 あおい		長谷川 敬一
	さわやかすずめのみや		今村 真里子		渡辺 花寿美
	さわやかなすしおばら館		村上 真一		松井 渉
さわやかなんよう館	さわやかGHなすまち		大石 百合香クレア		田中 和代
	大竹 秀子		金益 春雄		瀬川 幸子
	乗波田 とみ子		時田 恵美子		升田 厚子
	横山 恵		是此田 浩太		柏谷 芽衣
	有村 静代		高崎 夫美子		青木 章子
	杉浦 政江		刀根 浩二		勝見 薫
	森 琴美		市丸 政昭		三谷 健二郎
	福田 りつこ		田村 一郎		坂本 敏子
	徳田 美加		名越 めぐみ		橋崎 なるみ
	安藤 陽子		阿部 沙也加		菅原 多恵子
さわやかGHあゆみ	鰐部 剛士		佐藤 雄二		古賀 寛之
	岩田 円花		工藤 夕美		坂本 壽子
	中田 孝和		平山 若菜		さわやかこすもす館
	藤原 淳		石松 昇平		さわやかさかのいち館
さわやか和布刈館	江口 丈徳		池田 正惠		清浦 潤一
	萱野 みほ子				村上 かおり
	渡邊 売				徳浦 翼

※GH→グループホーム ※DS→デイサービス



STAR No.112
永末 葉月さん [25歳]
さわやか愛の家のおがた館／管理者
(福岡県直方市)

前職では、デイサービスやヘルパーステーションなどで高齢の方々の介護に携わっていました。当時から「さわやか俱楽部」という会社の名前はよく聞いていましたが、介護以外にも色々な事業展開をしていることを知り、どのような会社なんだろうと興味を持っていた時に、タイミングよく求人故に出ていたので応募し、面接をして頂きました。

面接では、現在の上司である市丸統括が会社の概要などを詳しく教えてくれ、とても目標を高く持っていることに感銘を受けました。



自分自身多くの事を学び成長できる会社だと思い、入社を決意しました。

現在は、放課後等デイサービス事業所で、発達障がいなどハンディキャップのある子どもたちの支援に携わっています。子どもたちと過ごす中で、出来なかった事が出来るようになつたりと、日々成長している姿を見ることができるのがとても嬉しく、毎日とても充実しています。

私自身、障がい者福祉の分野は知識も経験も浅く、まだまだ未熟ですが、色々な事にチャレンジして経験を積み、多くの事業所の立ち上げに参加できるよう、マネジメント力などを身につけていきます。これからも会社の理念を忘れずに社会貢献していきたいです。

ウチヤマグループで働く
皆さんの日報をご紹介します。



齋藤 彩加さん [さわやか桜式番館] 秋田県秋田市

遠隔地本社研修の最終日でした。正直、常に気を張っていたので、体も精神的にも疲れていると思います。しかし、研修期間中、早く帰りたいとは思いませんでした。逆に、もっともっと学びたいという気持ちしかありませんでした。研修に参加する機会を頂き、改めて自分の未熟さと考えの甘さに気付くことが出来ました。もう一度、勉強しなければいけないことがたくさんあり、早く勉強したいという気持ちでいっぱいです。ウチヤマホールディングスの一員として、理念と哲学のもと、謙虚な姿勢で成長していきたいと思います。今回の研修で出会った仲間たちとの横のつながりを大切にし、桜式番館で今すぐ始められることは、即行動に移していきます。研修前に作成した母の日のプレゼント。本当の母へのプレゼントは福岡の名物、明太子と博多通りもんにします。毎日心配のメールが来ていましたが、無事に秋田に着きました。母にも感謝です。

青木 達弥 店長 [コロッケ俱楽部 成増店] 東京都板橋区

先日、常連様の娘さんがハタチになった記念でご来店頂きました。以前から「娘がハタチになら連れて来るね」と仰っており、「その時はお祝いさせて頂きますよ」と話をしたのは半年以上前であったと思います。月日が経つ早さを感じると共に、これまで変わらずひいきにして下さった喜びは非常に大きく、オリジナルでデザートを提供させて頂いた際には、たいへん喜んで頂けました。これからも1人でも多くのお客様と喜びを分かち合えるお店作りを目指して営業してまいります。

両親へ、感謝の気持ちを込めて…
産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。



[さわやか立花館]

福岡県福岡市
山口一也 施設長

私は昭和六十三年五月、佐賀県嬉野（うれしの）市にてこの世に生を受けました。小さな頃からとても元気で、兄弟げんかは日常茶飯事でした。いつも両親から厳しく怒られていた記憶は今でも鮮明に残っています。

小学校三年生から野球をはじめ、大学まで野球を続けました。学生時代は食欲も旺盛でしたが、母の作る愛情いっぱいの料理は、みな温かくおいしく感じました。一番の思い出は、全国高校野球夏の大会予選に、家族総出で応援に来てくれたことです。父や母がいつも私の体を気にかけてくれたこともあり、大病することなく大好きな野球に打ち込むことができました。

家では窓ガラスが割れてしまふくらい激しく母とけんかしたことや、兄弟げんかをして父親にガムテープで体をぐるぐる巻きにされたこともあります。こんな私ですが、友人と遊んで深夜に帰宅した際にも、食卓に私の分の食事をいつも用意してくれている母の優しさに、少しずつ感謝の気持ちが芽生えてきました。

今はさわやか俱楽部に入社させて頂き、一人でも多くの方々の役に立つことが親孝行につながればと考えています。時に厳しく叱ってくれ、時にどんな心の傷も癒してくれた両親に感謝し、そして大切に思っています。子供の頃から私たち子供の為に忙しく働いてくれた両親に行きたいところへ僕が連れて行つてあげます。楽しみにしていて下さいね。

大好きなお父さん、お母さん。今まで照れくさく言えなかつたけど「生んでくれて、育ててくれて、本当にありがとうございます」

両親へ、感謝の気持ちを込めて…
産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。



おたよりのご紹介

さわやか花美式番館

精神的な不安が強く出ている現在ですが、三〇分の訪問で話を聞いていただけたり、その日の体調管理などで必要であれば早めの受診を勧めてくれたりして、症状に対応できるので大変助かっています。これからもよろしくお願いします。

（福岡県北九州市・長岡様より）

さわやかリハビリティサービス木町

いつも楽しくリハビリをやっておりました。歩行その他、脳梗塞の後遺症と脊柱管狭窄に苦しんでいましたが、少しずつよくなつて感謝しております。

（福岡県北九州市・井上様より）

コロッケ俱楽部 佐世保店

つじさんはとても丁寧に対応してくれて、ださり、子供たちにも配慮してくれて嬉しかったです！初めて朝早く利用しましたが、子供たちもコロッケ俱楽部が好きで「また朝から行きたいな♪」と言っています。おかげさまで楽しい時間を過ごせました。

（長崎県佐世保市・野中様より）

コロッケ俱楽部 延岡店

ふじもとさんは笑顔がとっても素敵です。忘れ物があった時は、わざわざ連絡を頂きました。また、主人が車いす使用者ですが、事前に予約の電話を入れると玄関スロープ前に他の車を駐車できないように心遣いをしてくださいます。

（宮崎県延岡市・橋様より）



萬弘寺の市

「萬弘寺の市」に行きました。さかのいち館の所在する大分市坂ノ市の萬弘寺の門前で行われるお祭りで、5月18日から5月24日の7日間開催されました。その期間中に入居者様と一緒に屋台の料理を堪能したり、ステージでの出し物を見たりして賑わいを楽しんできました。

お祭り3日目には、ステージでさかのいち館の入居者様のカラオケ披露もありました。みなさん生き生きされ、参加することが出来て良かったです。来年も参加していきます! (徳田 清輝)



保育園訪問 続いてます!

今年度も保育園訪問が始まりました。入居者様からは自己紹介をご自身でして頂きました。

92歳の入居者様が「私もこんな時があったのかなあ～」と立派なあいさつをされました。心は90年前にタイムスリップし若返りましたね!



蛙の工作をして飛ばして楽しみました。童心に返ってますね! 子供達の作ってくれたかわいい花道通り、帰りました。微笑ましくて、思わずもらい泣きの私でした。

7月7日の七夕祭りに訪問します! きっと願いが叶いますね! (國吉 淳子)

さわやか だより

みんなのお便り
集めました!



紫陽花を見に

先日、皆様をお連れして歩行訓練を実施しました。今回の歩行訓練の場所は高塔山です。様々な色の紫陽花が咲いていました。展望台まで歩いていきましょう。展望台にたどり着いて、利用者様の目線の先には…このような景色が広がっています。外の空気を吸ってみなさま気分転換になったようでした。



最後は記念撮影です。外出する機会が少ないとの事なので久々の外出に喜ばれていました。これから梅雨なので外出する機会は減っていってしまうかもしれません、日々の運動の成果を発揮できるように歩行訓練を行なっていきたいと思います。(原田 翔子)





月刊DAY 準優秀賞受賞!

デイサービス事業所向けの全国誌「月刊DAY」に、入居者様と職員で作った貼り絵の作品が掲載されました。最初の目的は八幡西区の敬老展示会への出展でした。9月の開催のため3ヶ月前から準備を始めました。

作品のテーマは、利用者様にとって思い出深い建物にしようと数名の方に伺い、ご意見が多くあった若戸大橋に決まりました。モザイクに編集しそれぞれの色分けをおこない、15センチ四方に1.5センチの升を書き、それぞれの升に該当する色を番号で表示しました。ここまで準備を職員が行い、貼る色紙を1.5センチ角に切る作業、そして貼る作業を皆様にやっていただきました。

午後からは外出や他のレクがあるため、毎日午前中に入浴前に全員で貼っていただきました。貼るサイズが小さく皆様大変苦労しておられましたが、利用者様同士のサポートがあつたりとこの作品を完成させることへの一体感が施設内にあり、とても良い雰囲気の毎日でした。完成した作品を見た利用者様は「写真みたい」、「私たちが作ったなんてうそみたい」と、とても驚いていたのが印象的でした。



作品は展示の10日前位に完成しましたが、予想以上に大きくなり展示は1/3位までカットしておこなわれました。本当なら大きなまま迫力ある作品を多くの方に見ていただきたかったので、職員としては悔しさが残り、たまたま見ていた「月刊DAY」への投稿を提案してきましたので2月頃写真を送りました。

出版社の方からは7月号に載りますとの連絡だけでしたので、5月末に本が送られてきたときに準優秀賞を受賞していたのには全員びっくりしております。利用者様には当日すぐご報告いたしましたが、皆様手をたたいて喜ばれておりました。

一人ひとりの作品よりも今回のように全員でひとつの作品を作り上げたときのみんなで味わう達成感を皆様には感じていただけたのではないかと思います。これからも今回のような創作活動で利用者様の生きがい作りのお手伝いができるべと考えております。(前田 敏彦)



サファリジャングル キャラバン



5月30日に姫路セントラルパークの方々にご来館頂き、当施設にて「サファリジャングルキャラバン」を開催して頂きました。事前に告知もさせて頂き、入居者様だけではなく職員もとても心待ちにしておりました。また、チラシも配布させて頂きました。地域の方々や他施設の方々もお越しくださいました。

昼過ぎよりスタッフの方々が準備をして下さったのですが、傍らでポニーが見守っている姿が何とも言えません。本日のスター達も到着し、館内がどんどんサファリパークになっていきます。入居者様もフロアへ降りて来られ、いよいよ「ジャングルキャラバン」がスタートしました。「姫路セントラルパーク駅」から「さわやかリバーサイド駅」を結んだレールの上を、ミーアキャットやモルモットが駆け抜けていきます。

その後皆様が楽しみにしておられたふれあいタイムです。入居者様はヘビに興味津々です。初めてヘビに触れられる方が



多く、「こんな体験できると思わなかった!」「思ったよりひんやりしていたよ!」と興奮気味に教えて下さいました。外ではポニーカートが行われており、入居者様同士や入居者様と職員で乗車させて頂きました。歩くたびに伝わる振動がとても心地良くゆったりとした時間を楽しませて頂きました。「ワフワフしている」「ブタの鼻って湿ってるんや!知った?「指ののってくれてかわいいわー」とふれあいの時間を楽しめておりました。

限られた時間ではありましたが貴重な体験をさせて頂きました。入居者様だけではなく、職員もとても有意義な時間を過ごさせて頂きました。スタッフの方々も優しく接してください、何より、動物とふれあっている時の入居者様が本当に無邪気な笑顔だったのがとても印象的でした。

今回の「ジャングルキャラバン」の様子を姫路セントラルパークのブログに記載して下さっています。ぜひ、そちらのブログもみて頂けたらと思います。また、姫路セントラルパークでは様々なイベントをしておられるとの事なので、お礼もかねて遊びに行かせて頂きたいと思います。

最後になりましたが、本日はお忙しい中たくさんの方と一緒にリバーサイド西脇にお越し下さって本当にありがとうございました。(谷口 実奈)



北欧視察で感じたこと

平成二十九年五月二十一日から二十八日にかけて、船井総合研究所が主催する海外視察ツアー「グレートカンパニー視察セミナー」に参加しました。全国各地から集まつた勉強熱心な企業経営者や、船井総研の三浦康志先生をはじめとする引率の「コンサルタントの方々と一緒に、北欧のスウェーデン、フィンランドを訪問しました。北欧諸国は、以前から社会福祉制度が進んでいたと言われており、過去にも何度か視察に行つたことがありました。今回はまた新しい発見がありました。

私たちが訪れた時期は、日照時間が一日約十八時間と非常に長く、夜の十時頃まで外が明るいので、遅い時間まで多くの人が出歩いていました。逆に冬の間は日照時間が一・五時間ほどの日もあります。現地の人々は、太陽の恩恵のありがたみをよくわかつていて、日の長い夏の間を存分に楽しもうという雰囲気が感じられました。

企業視察においては、イケアやボルボといった著名な企業の歴史や創業者の考え方を知り、いかにして世界のトップリーダーになることができたかを学びました。また、スウェーデンにある「サムハル」という会社では、現在二五〇〇〇人もの障がいを持たれている方を雇用し、様々な国内企業へ派遣しています。イケアやボルボといった大企業だけでなく、町で清掃作業を行う会社や製菓工場などでも派遣されていました。障がいを持つことはハンデキャップではなく、バリエーションの一つと考えられていて、障がいの種類で人を区別するのではなく、「個人として何ができるのか」という考え方が重要であることを教えていただきました。

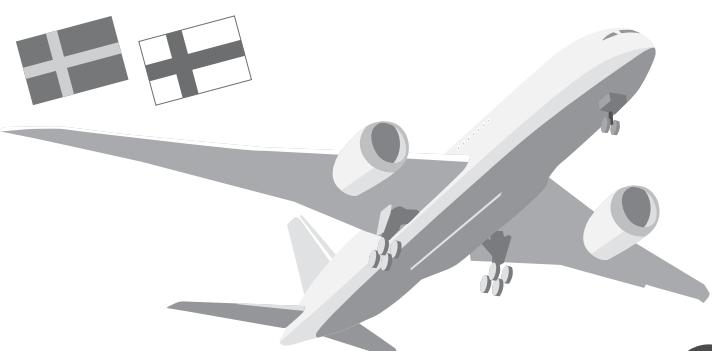
「ブランアルデシュガータン二十七」という子ども園では、障がい児と健常児が一緒に学ぶ「統合教育」を行つており、一クラス定員十五名の児童に四名の教員という手厚い人員配置がされていました。幼少期から「自己選択・自己決定」の教育に入れており、遊びを通じて民主主義を教え込まれることもあり、若者の政治に対する参加意識も高く、二〇一四年の総選挙では投票率がなんと約八十五%といつ高い数値を誇っています。

また、スウェーデンのヨーテボリにある「キラーズパーク」という公園を訪れた際、小高い山の崖から下に落ちないように手すりが設置されました。ガイドの方の話によると、西暦八〇〇年、一〇〇〇年頃まで、厳しい気候で農作物が十

分に育たず、食物が不足する時代があつたそうです。そのため、少ない食物を子どもたちへ与えるために高齢者が自ら命を絶つ、日本で言うところの「姥(うば)捨て山」が存在していたとのことです。一般的に北欧諸国は福祉国家、福祉先進国と言われていますが、この辛い歴史を繰り返さない為にも、福祉制度の充実に取り組んでいるとの解説が印象に残りました。

今回の視察で私が最も驚いたのは、キャッシュレス化が非常に進んでいたことです。スウェーデン国内の決済の九十八%はキャッシュレスで行われており、「現金お断り」の店も多く、クレジットカードがなければ買い物にも困るといった状況でした。キャッシュレス化のメリットとしては、①強盗や盜難被害の減少、②硬貨及び紙幣の発行・流通コストの減少、③マネーロンダリング等の犯罪防止、といった点が挙げられています。少しだけ傾向は他のヨーロッパ諸国やアメリカでも同様に進んでおり、ニューヨークのウォールストリートで働くビジネスマンは、できるだけ小さくて薄い財布を持つことを競つているそうです。日本のキャッシュレス化は現在十二%と、大幅に遅れをとっていますが、日本でも決済の大部分で現金を使わなくなる日が近いうちに訪れるのではないかと思います。

今回の視察を通じて、常に新しい知識を学んで時代の変化に備えることの必要性を改めて感じました。また同時に、企業理念や創業からの思いを広く社内に浸透させ、企業本位ではなくお客様や従業員の幸福を願う姿勢を貫くことの大切さも強く感じました。ウチヤマグループも、企業としてこれからさらに発展を遂げられるよう、これまでの歴史や理念・哲学を踏襲しつつ、新しい技術や革新的なアイデアを積極的に取り入れ、時代の流れに柔軟に対応していきたいと思います。



常に新しい挑戦を

仕事をする上で大事な」とは「仕事を楽しむ」とことです。通常一日の活動の大半は仕事をしている時間であり、その時間は家族と過ごす時間よりも長いはずです。ですから、仕事を十分に楽しむことができれば、人生も大きく変わつていきます。「やらされている」という感覚で、後ろ向きに仕事を行つのではなく、積極的に「楽しむ」という感覚で仕事ができていれば、その一日は充実したものに変わつていくはずです。充実した一日を積み重ねるといふことは、豊かな人生を作るといふことです。目標も持たずに漫然と同じ気持ちで毎日を過ぐしていっては、仕事も人生も楽しくなりません。お客様の喜びや社会貢献という正しい目標を持つて、常に新しいことに挑戦することが大切だと思います。

さわやか俱乐部では、平成二十九年六月一日に、三つの施設を新たに開所しました、福岡県北九州市の「さわやかシーサイドくきのうみ」、岡山県瀬戸内市の「さわやか愛の家せとうち館」、愛媛県新居浜市の「さわやか愛の家にいはま館」です。

放課後等デイサービスの「さわやか愛の家」は、これで十施設になりました。平成二十七年十一月にスタートして一年半といつ、当社グループの中では新しい事業ですが、実際に初めてみて障がい児を取り巻く環境を知るにつれ、地域や家庭から本当に必要とされている事業であることを実感しています。まだまだ支援を必要としている地域がたくさんありますので、今後も高齢者施設と同様に積極的な展開を続け、社会の要請に応えていきます。

「さわやかシーサイドくきのうみ」は、平成二十七年に北九州市主催の公募で選定された、八〇床の介護付有料老人ホームと一〇床のショートステイが併設する施設です。本社がある北九州市では久しぶりに新規開設した施設となります。このシーサイドくきのうみは、洞海湾沿いに建つており、食堂や屋上のバル「一一から目の前を行き交う船や若戸大橋、皿倉山などが一望できる素晴らしい

ロケーションが目を引きますが、それに加えて新しい取組みやアイデアがたくさん詰まつている施設です。

一番大きな特徴は、「さわやかく生きのうみ」の保育園は、地域の方が安価で利用できるだけでなく、社員が勤務中に利用する場合は無料で利用できる福利厚生の役割も担つています。共働きの方やシングルマザーの方が安心して勤務できるように思い切つて開設しましたので、ぜひ有効活用してほしいと思います。保育園の他にも、広々とした一階の地域交流スペースや最上階の災害時避難所、外部には施設の歴史と共に育つていく植樹エリア「幼青老共生の森」があり、世界の環境首都を目指す北九州市らしく風力発電の設備も備えています。入居される方だけでなく、勤務する職員、地域の方々にも役立つ施設になっていますので、近くの方はぜひ一度見学に行ってみて下さい。

サービス向上に向けての挑戦も続いています。一つの事例として、九州歯科大学と約二年半前から産学官連携の共同研究を進めています。その取り組みの中から「さわやか口腔ケア認定士」という社内資格制度が生まれ、介護施設での口腔ケアの充実を図ることによつて、入居者様の誤嚥(ごえん)性肺炎による入院が著しく減少するというような、目に見える形となつて成果が表れています。

先日、その成果を発表する機会に恵まれました。六月十日に九州歯科大学にて市民公開講座を開催し、これまでの共同研究の成果を発表させて頂きました。一般市民の方々に交じつて、さわやか俱乐部の社員も多く参加しており、真剣な表情で発表を聞いてくれています。今後は全社員が「さわやか口腔ケア認定士」の資格取得を目指し、更に健康で生きがいを持った生活を支援できる施設作りを行つていただきたいと考えています。

ウチヤマグループは、常に新しいことに挑戦している企業グループですが、その挑戦は現場で働く社員一人ひとりが、現状に満足することなく常に向上心を持ち、仕事・人生を楽しもうとする姿勢に支えられています。これからもその姿勢を強く持ち続けることで、豊かな人生を歩み、社会に貢献できる企業を全員で作つていきましょう。

今月の
おすすめ
図書



- 1 ヒルビリー・エレジー
(J.D.ヴァンス)
- 2 一刀両断
(櫻井 よしこ)
- 3 池上彰の世界はどこに向かうのか
(池上 彰)
- 4 できる人の仕事のしかた
(リチャード・テンプラー)
- 5 伝記 世界を変えた人々 アインシュタイン
(フィオナ・マクドナルド)

- 6 日本の革新者たち
~100人の未来創造と地方創生への挑戦~(齋藤 義明)
- 7 それでもこの世は悪くなかった
(佐藤 愛子)
- 8 こころの心しが なぜ? どうして?
(村山 哲哉 監修)
- 9 はくちようの王子
(ポプラ社 出版)
- 10 エルマーとにじ
(デビッド・マッキー ぶんとえ)



GENUINE QUALITY
銀天街
1923
HIGHBALL
BAR

TEL.093-533-2941

年中無休 全64席

北九州市小倉北区魚町2-5-13

営業時間

月～金 17時～翌2時 土 16時～翌2時 日・祝日 16時～24時

HIGHBALL BAR 銀天街1923 オープン!!

5月23日、ボナーが運営している居酒屋「小倉再生酒場」がリニューアルし、ハイボール専門店「HIGHBALL BAR銀天街1923」として生まれ変わりました! サントリーが全国で展開するブランドの九州2号店で、北九州では第1号となります。高炭酸でよく冷えたハイボールを提供するための専用ディスペンサーを導入し、ハイボールの多様な味わい、楽しみ方を提案しています。



・下川店長よりご挨拶

オープンして以降、好評をいただき毎日忙しく営業しております。当店はノスタルジックモダンをコンセプトに、古き良き日本のバーを現代風にアレンジした落ち着いた雰囲気となっております。こだわりのハイボールもお客様から美味しいと好評ですので、皆さんも、ぜひ一度味わってみてください。料理長の中本さん、新入社員の船津くんと共に、小倉イチの店舗にしてやろうと、頑張っておりますので、よろしくお願い致します。(下川 和明)

内山社長、 北欧視察セミナーに参加!!

5月21日から28日にかけて、船井総合研究所が主催する「グレートカンパニー視察セミナー」が行われました。今回の視察先は、北欧のスウェーデン、フィンランドの2か国で、ウチヤマグループからは内山社長とさわやか倶楽部の市丸さんが参加しました。

日本全国から参加した企業の方々と一緒に、大企業の先進的な取り組みや高齢者・障がい者に対する社会保障制度、キャッシュレス化が進んだ決済の仕組みなど、多くのことを学ぶ機会となりました。

サントリービール工場研修

5月25日、サントリー熊本ビール工場にて、ボナーのカラオケ店、飲食店の社員を対象とした研修が行われました。昨年は熊本地震の影響で工場見学会ができなかったため、今年は2年ぶりの開催となりました。九州・山口・広島地区から28名の社員が参加し、ビールの製造工程や適切な品質管理の方法などを学びました。



さわやか倶楽部 介護職員初任者研修

受講生
募集中

研修場所 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号

研修費用 38,000円(受講料・テキスト代・消費税込み)
※さわやか倶楽部の職員は10,000円の補助があります

開催日程 平成29年8月1日～平成29年9月29日 ※毎週火曜・金曜

申込期間 平成29年7月30日まで

定員 24名(定員となり次第受付終了)

対象者 年齢不問(18歳未満の方は保護者の同意必要)
現在介護業務に従事している方
および今後介護業務に従事しようとされる方

問い合わせ 093-551-5555(担当:はらの、たづけ)



一人で悩まないで!
あなたのお悩み
話してみませんか?

お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております!

電話番号 090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp